



主催：土木学会水工学委員会
共催：実践水文システム研究会

後援：国土交通省(予定)
水文・水資源学会

我が国の レーダ雨量計 研究開発50年の歩み

日時

2016年
10月18日(火) 13:30-17:30

東京大学本郷キャンパス 武田先端知ビル5F 武田ホール
東京メトロ千代田線 根津駅1番出口徒歩5分

来賓

山田邦博 (国土交通省水管理・国土保全局長)

登壇者・コーディネーター

中北英一 (京都大学)

深見和彦 (国土技術政策総合研究所)

木暮陽一 (元 関東地方整備局利根川ダム統合管理事務所)

畑 浩靖 (元 株式会社東芝)

水野雅光 (元 土木研究所)

兪 朝夫 (株式会社建設技術研究所)

森山聡之 (福岡工業大学)

藤原雅二 (近畿地方整備局淀川河川事務所)

大石 哲 (神戸大学)

山田 正 (中央大学)

※敬称略

定量的な雨量推定 (QPE)、流量推定は極めて重要なレーダ雨量計の意義であるが、さらにそれを乗り越えて定量的降雨予測 (QPF) や流量予測を行い、さらにその有効利用をすることなどの、より安全で快適な河川の管理を行うためにレーダ雨量計を用いた「研究・開発」が位置づけられてきた。今回は土木学会水工学委員会として、レーダ雨量計のハードとしての開発や整備だけでなく、その「研究・開発」とそれに関わった人々の50年の歩みと思いをこれからの研究者・技術者と共有して、うるおいの中にも安心がある国土を今後形成していく、ステップとしたい。

*終了後、会場近くにて、懇親会(有料)を予定しています。
みなさまのご参加をお待ちしております。

この行事は「土木学会認定CPDプログラム」
(認定番号：JSCE16-0516) です。

お申し込み

レーダ雨量計50周年記念事業事務局

MAIL: radar50@chikyu.mei.titech.ac.jp

(東京工業大学 土木・環境工学系 鼎研究室)